

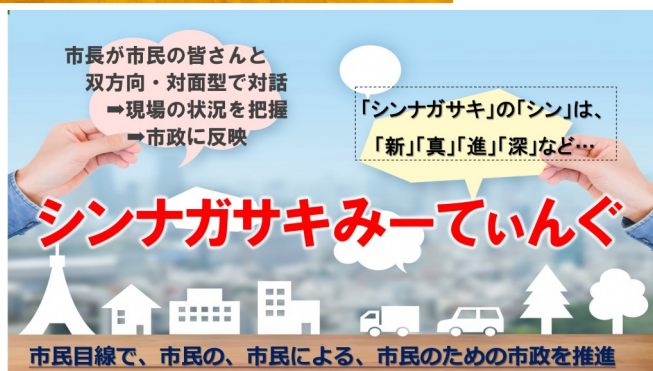
シンナガサキミーティング開催レポート

i n 桜が丘小学校区



令和5年9月13日（水）、自治会や育成協、育友会、小学校、子どもを守るネットワークなど17人の皆さんにお集まりいただき、桜が丘小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

参加者の皆さんからは、令和4年3月に設立されたまちづくり協議会の活動や2500人以上が集まった夏まつりなど地域の特色ある活動や、地域で暮らしていく中で感じていることなどをお話いただきました。



いただいた意見

①小江原台近隣公園について

夏の猛暑への対策として、公園にベンチと日よけが設置できないか。また、防球ネットが老朽化しているため、整備してもらえないか

市の考え方・回答

安心して公園をご利用いただけるよう暑さ対策の視点も踏まえつつ、地域の皆様の声をお聞きしながら公園に適した整備を検討します。

また、防球ネットについては、部分的な補修をこれまでは行ってきていましたが、全体的に老朽化が進んでいるため、ネットの張替えの予算を確保し対応したいと考えています。

②市道虹ヶ丘西町1号線について

北高のところから西町～虹ヶ丘に通じる道（市道虹ヶ丘西町1号線）がずっと工事中だが、いつできるのかが知りたい。

市の考え方・回答

市道虹ヶ丘西町1号線につきましては、令和11年度末の完成を目標としています。現在、計画区間1,950mのうち約1,200mが整備済みで、今後は橋梁、トンネル等の大型工事を施工する必要があり、今年度は橋梁架設に必要な工事用仮橋の設置と水路整備工事を予定しています。

③自治会通報アプリについて

台風の前に、腐っているような木があり危険だったので緊急通報をしたが、その後の対応状況が分からない。

市の考え方・回答

通常、自治会通報アプリで、通報を受けた場合、アプリ内で対応状況を入力しておりますが、今回は、対応していたものの、状況の入力が漏れており、お問い合わせいただいた際に対応状況をお伝えすることができませんでした。申し訳ありませんでした。

通報があった樹木は葉も茂って、弱っている状態でしたので、植栽業者に確認し、伐採しました。

④地域コミュニティ推進交付金について

まちづくり協議会を運営していくにあたって、50万の基礎金額+市からの交付金が1人あたり400円×校区内の人口の金額をもらってやっているが、この4~5年間で、かなりの物価高になっている。

これまで20年間、自治会で2000人規模でやってきた夏祭りを4年振りに開催することとなり、4年前の実績に3割程度上乗せして予算を組んでいたが、はるかにオーバーしてしまっている。企業に協賛金のお願いをしたりして、今回はやっと開催できた。今の状況を鑑みて、交付金の底上げをしてもらえないか。

市の考え方・回答

ここ数年の物価高に伴い、活動費に係る経費がこれまで以上にかかり、運営にご苦労されていることと思います。

現在、各協議会におかれましては、地域コミュニティ推進交付金の上限額の範囲内で、必要な事業を皆さまで話し合い、計画・実行されているところです。

今後も引き続き、各協議会の交付金の執行状況等を確認し、皆さまのご意見も聞きながら対応させていただきます。

そのほか、「自治会が地域のコミュニケーション、環境美化、犯罪抑止につながっている。加入促進をしてほしい」、「こどもの安全安心のために時代に合わせた体制づくりが必要」、「みんなが住みやすい環境づくり、楽しく過ごせるイベントなどをやっていきたい」などのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。

鈴木市長のひと言

地域コミュニティ、特に自治会などさまざまな組織が今、曲がり角に来ているなという思いがしております。

人口減少、少子高齢化など世の中が変わってきている中で、どうすれば持続可能なものにできるのか、皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。



参加者からの感想

コミュニティの中でも話し合いができたので、今後もやってほしい。

様々な質問に市長が丁寧に返答されており、分かりやすかった。

長崎市の市政まちづくりの様子が分かったのが良かった。

市長との対話を通して、地域の対話を図ることができました。

